



東北大学



2013年9月18日
東北大学病院

「先端医療技術トレーニングセンター」を開所
-外科手術手技の系統的な習得を促進し先端医療技術の普及と医療安全の推進へ-

東北大学病院（下瀬川 徹 病院長）は、9月18日（水）に東北大学病院「先端医療技術トレーニングセンター」（海野 倫明 センター長）を開所しました。

当センターは、医療技術手技に特化した大動物トレーニング施設で、病院が所有する施設では、本邦最大のウエットラボトレーニングセンターです。全国の初期・後期研修医や上級医師、医療従事者、企業へも開放します。基本から実践までの幅広い外科手術手技・知識の習得を促進し、先端医療技術の発展・普及及び医療の安全性向上に貢献します。

東北大学病院卒後研修センターと東北大学医学部附属動物実験施設は、2007年1月から研修医に対するブタを用いた外科手術トレーニングを実施してきました。約6年間で、計26回の初期研修トレーニングコースを開催し、99名の初期研修医が受講しています。この実績をもとに、第二期宮城県地域医療再生計画事業（平成23年度）の採択を受けて、地域医療及び被災地医療の再生のみならず、日本を代表する最先端のトレーニング施設として「先端医療技術トレーニングセンター」を竣工、開所することとなりました。

手術トレーニングでは、動物実験倫理、動物実験福祉の専門家による講義、動物の馴化、麻酔導入から搬送、手術のシミュレーションまでを行い、手術の進め方の理解を深め、手術器具・器械使用の習熟を図ります。医療現場で手術を執刀している講師陣の直接指導によって、系統的な外科手術手技の習得を行うことができます。

【本件問合せ先】

東北大学病院 広報室

TEL:022-717-7149 FAX:022-717-7016

Mail:pr@hosp.tohoku.ac.jp

